

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
2019 年度事業計画

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2019 年度事業方針

2019 年度の事業計画として、まず 8 月 21 日から 23 日まで北海道科学大学において第 34 回リハ工学カンファレンスを開催し、会期中に社員総会を開く予定です。また例年通り協会誌を 4 回発行し、福祉機器コンテスト 2019 を従前のスケジュールで実施します。また、9 月 25 日から 27 日まで東京ビッグサイトで開催される国際福祉機器展 (H. C. R. 2019) に当協会のブースを出展し、来場者に協会の活動紹介と福祉機器コンテスト 2019 の受賞作品展示、さらにこの会期中に福祉機器コンテストの表彰式を実施する予定です。

分科会活動として、全 10SIG が法人内 SIG となるよう順次進めていきます。支部に関しては、全 6 支部を設立したので積極的な活動が行えるよう支援していく予定です。災害対策委員会では、JRAT に加盟団体として、関連団体と協力しながら被災地及び今後起こりうる災害の被災地に対して支援活動を実施する予定です。

他団体との連携として、全国頸髄損傷者連絡会と共同で実態調査を行い、「頸損解体新書 2020」として発行を目指しています。

国際連携推進委員会ではアジアのリハ工学関連組織の連携団体である CREATE Asia (アジアリハ工学連携会議) と国際支援技術組織連合 (Alliance of Assistive Technology Organizations) についてはこれまで通り、RESNA、AAATE、ARATA、RESKO、TREATS と調整しながら、中央委員会 (Steering Committee) のメンバーとして今後の国際連携活動を推進いたします。

今年度より正会員の年会費を値上げさせていただきます。それにより、これまで当協会が続けてきた事業を確実に実施し、さらに支部活動や国際連携を進めていくために予算を計上しつつ、できる限り支出を削減するように努め、さらに新会員と協賛団体の加入を進めるよう努力していく所存です。

会長 沖川悦三

1. 事業

1-1. リハ工学カンファレンス関連 (カンファレンス担当理事)

1) 第 34 回リハ工学カンファレンス in さっぽろの開催準備

- ・会期：2019 年 8 月 21 日 (水) ～23 日 (金)
- ・会場：北海道科学大学 (北海道札幌市)
- ・大会テーマ：リハ工学と看護・介護
- ・大会長：桂律也氏 (三草会クラーク病院リハビリテーションセンター長)
- ・実行委員長：早川康之氏 (北海道科学大学義肢装具学科教授)
- ・発表演題数：101
- ・内容：一般演題発表、ポスター発表、福祉機器コンテスト、ファーストタイムズセッション、大会長講演、特別講演、特別企画、大会長特別企画、学生企画 (各種体験企画)、市民公開講座他

2) 第 35 回リハ工学カンファレンス in 北九州の開催準備

- ・会期：2020 年 10 月 24 日 (土) ～26 日 (月)

- ・会場：西日本総合展示場新館 3F 会議室および AIM ビル 3F 会議室（福岡県北九州市）
- ・大会長：繁成剛氏（東洋大学人間環境デザイン学科教授）
- ・実行委員長：中村詩子氏（北九州市立総合療育センター）

3) 第 36 回リハ工学カンファレンス準備

第 36 回リハ工学カンファレンスの開催準備を行う。

4) 今後のカンファレンスのあり方を検討する

1-2. 福祉機器コンテスト関連（コンテスト担当理事）

1) 福祉機器コンテスト 2019

- ・第一次選考会 2019 年 7 月 7 日（土） 応募作品の書類・ビデオ審査
於：横浜市スポーツ医科学センター
- ・第二次選考会 2019 年 8 月 22 日（木）
機器開発部門：プレゼンテーション審査、学生部門：書類・ビデオ審査
於：第 34 回リハ工学カンファレンス in さっぽろ会場内
- ・発表・表彰：第 46 回国際福祉機器展 H. C. R. 2019 会場内 9 月 25 日（水）～27 日（金）
- ・展示・広報（予定）：
第 34 回リハ工学カンファレンス in さっぽろ 8 月 21 日（水）～23 日（金）（受賞作品の展示）
H. C. R. 2019（東京） 9 月 25 日（水）～27 日（金）（表彰式／受賞作品の実物展示）
P. P. C. 2019（北九州市） 11 月 14 日（木）～16 日（土）（受賞作品のチラシ展示）

2) 福祉機器コンテスト 2020

特別協賛：（予定）フランスベッド株式会社

協賛（予定）：株式会社有菌製作所、川村義肢株式会社、株式会社ケープ、日陶科学株式会社、株式会社ミクニライフ&オート、株式会社モリトー

後援（予定）：厚生労働省、経済産業省、公益財団法人テクノエイド協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会、一般社団法人日本作業療法士協会

- ・福祉機器コンテスト 2020 選考委員会の設置（2020 年 4 月 1 日～）
- ・募集対象：機器開発部門，学生部門
- ・広報開始・応募要綱配布：4 月中旬
- ・募集期間：機器開発部門 5 月～6 月、学生部門 5 月～7 月
- ・展示・広報（予定）：バリアフリー 2020（大阪）展示会（広報） 4 月
ウェルフェア 2020（名古屋）展示会（広報） 5 月

1-3. 協会誌関連（協会誌担当理事）

1) 協会誌編集

- ・年 4 回、協会誌の発行に合わせて会場の確保を行い、編集委員会を開催する。うち、年 2 回を目標として、Web 編集委員会を開催し、経費削減をはかる。そのほか随時インターネット上にて編集作業の進捗状況について情報交換を行う

2) 協会誌発行

- ・以下の協会誌を発行予定

vol. 34 No. 3 2019/8 特集「障害者スポーツの未来と挑戦し続けるアスリートを取り巻く環境(仮)」

vol. 34 No. 4 2019/11 特集「サイエンスを民主化せよーインクルーシブデザインをめざしてー

(仮)

vol. 35 No. 1 2020/2 特集「住みなれた土地(家)で暮らしたい(仮)」

vol. 35 No. 2 2020/5 特集「未定」

3) 投稿論文(査読依頼)

- ・査読担当委員を中心に、投稿論文の査読者の確保、依頼等を行う。査読体制の改善、さらには査読規定の改正が必要と思われる場合には、担当者間で協議し、対処する
- ・2018年度第1回理事会において、協会誌投稿規定検討委員会の設置が承認され、2018年度第4回協会誌編集委員会後に第1回委員会を開催した(2019年1月13日)。同委員会は、協会誌編集委員会後に継続開催予定であり、投稿規定と併せて査読体制・関連規定等の見直しもはかる予定である

4) 協会誌の段階的電子化

- ・協会誌電子化登載作業のうち、JSTへのWeb上での登録作業を印刷元等へ委託する。委託費につき以下の経費を計上したい

1-4. 分科会・専門委員会関連(分科会・専門委員会担当理事)

1) SIG活動支援

- ・現在設立されている10SIGは、それぞれ主体的に活動内容を企画・実施しつつ、時に複数SIG間で協同の事業を行っている。主な関心領域やメンバーの専門領域、そして企画の進め方も異なる多様性に富んだ10グループの活動組織は、当法人が企画する事業を実現化する際に大変頼りになるパートナーである。これまでも当法人が企画・参画・運営する事業(講習会やコンテスト、協会誌の査読、リハ工学カンファレンスなど)実施に際して法人内SIG・協力SIGと協働しており、2019年度以降も同様に協働しながら当法人の活動を活性化していきたい
- ・SIGの活動を支援するために2018年度より協会誌やHPへの情報掲載の運用について整理を行った。情報発信は重要であるとの認識から、今後も各SIGと情報交換しながら情報発信を進めていく。現在、法人外SIG(協力SIG)とは2016年度に基本協力関係の覚書を締結し、協力関係を明確にしたが、各法人外SIGの活動が拡大する中で対外的に協会との関係性を整理する必要が出てきている。そこで2018年度のSIG代表者会議を受けて、全10SIGが法人内SIGとなるように各種条件の整理を行い、法人外SIGの法人内SIGへの移行を順次進めていく

2) 支部への活動支援

- ・2016年度より、支部設置方針を見直して、設置申請方式から地域区割り方式に変更し、会員はいずれかの地域の支部に所属し、各地域でのリハ工学に関わる人的ネットワークを構築するために規定整備を行った。2018年度は協会誌やHPで全支部からの情報を掲載し、会員への周知を図っているが、支部ごとに活動状況に差があるので、2019年度はさらなる支部活動への支援を積極的に行う。また継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金の配分を行いたい

3) 災害対策委員会の運営と大規模災害時の協会の対応

- ・災害対応を行う目的で2016年度に設置された「災害対策委員会」が、2018年度よりさらに2年間の設置期間が延長された。2019年度はその2年目として本期限付き委員会の活動を継続して行うとともに、常設委員会としての設置の必要性についても検討を行う。また、大規模災害時の協会の対応について2018年度は災害対策委員会の中で検討・実施を行っており、2019年度もJRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)活動への参加や大規模災害に対応している他団体との協力体制構築及び被災地調査などを実施する。これらの活動に際しては企業から災害対策活動協賛金を募ることで実施する

- ・2019年度の主な活動は以下の通り
 - ・災害対策セミナー等の企画・実施
 - ・平成28年熊本地震への対応の検討
 - ・平成29年九州北部豪雨への対応
 - ・平成30年7月豪雨への対応
 - ・平成30年北海道胆振東部地震への対応
 - ・大規模災害時支援活動基本方針の策定
 - ・JRAT活動への参加と連携
 - ・障害を持つ人の防災マニュアル（仮称）の作成
 - ・JRAT・JAWS・JASPA・日本福祉用具供給協会などの連携の窓口
 - ・その他、災害対策委員会が独自に必要なと認めたこと

4) 災害対策セミナーの開催

- ・昨年度に続き、本年度も開催を検討する。運営は災害対策委員会を中心に各SIGの協力を仰ぎながら企画し、リハ工学の啓発、技術伝承及び、災害時の福祉用具や住環境改善の対応等の内容から検討する
 - ・内容はこれまではシンポジウム形式を中心としていたが、ワークショップ等の体験型のイベントなど新たな形式も検討していく
- 対象者：専門職向けやリハ工学に興味のある方等

2019年度活動計画 期間：2019年7月～2020年6月 ※会員数（協会員数）は2019年6月1日現在

SIG 姿勢保持	https://www.resja.or.jp/posi-sig/	会員数：176名（38名）
代表者：繁成剛（東洋大学）	事務局長：児玉真一（横浜市総合リハビリテーションセンター）	
<ul style="list-style-type: none"> ・講習会開催：実施予定 日程：2019年9月7日（土）～8日（日） 会場：山西福祉記念会館（大阪） ・役員会の開催：開催予定 日程：2019年12月末 オンライン会議（予定） ・書籍（小児から高齢者までの姿勢保持・第2版）や資料集PDF版の販売 		
車いす SIG	https://www.resja.or.jp/wc-sig/	会員数：108名（57名）
代表者：沖川悦三（神奈川県総合リハビリテーションセンター）	事務局長：深野栄子	
<ul style="list-style-type: none"> ・講習会開催：2019年8月24日（土） 北海道科学大学（札幌市） ・講習会開催：2020年 日程と場所は未定（未定） ・WEBサイト運営、テキスト発行（年2回）、分科会（BOG）活動、大規模災害復興支援、協会事業への協力 他 		
自助具 SIG		会員数：9名（9名）
代表者：岡田英志（ヒューマン）	事務局長：岡田英志（ヒューマン）	
<ul style="list-style-type: none"> ・テクノエイド協会自助具データベースへの協力 ・貸し出し用自助具箱の充実・貸出促進 		
乗り物 SIG	https://ameblo.jp/sunrise.jp007/	会員数：5名（5名）
代表者：岩崎満男（(株)ファースト・ウェルフェア）	事務局長：増子 千景（WILD GATE）	
<ul style="list-style-type: none"> ・分科会（BOG）活動、協会事業への協力 他 ・SIGのFB/HP更新など 		
SIG 褥そう防止装置	https://www.resja.or.jp/sig-pmps/	会員数：20名（20名）
代表者：新妻淳子（国立リハセンター研究所）	事務局長：河合俊宏（埼玉県総合リハビリテーションセンター）	
<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・日本褥瘡学会との連携 		
コミュニケーション SIG	https://www.resja.or.jp/com-sig/	会員数：67名（20名）
代表者：渡辺崇史（日本福祉大学）	事務局長：上野忠浩（横浜市総合リハビリテーションセンター）	
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションSIG講習会（勉強会）開催（時期未定） ・コミュニケーション支援団体との協力活動 		
SIG 住まいづくり	https://www.resja.or.jp/sumai-sig/	会員数：107名（60名）
代表者：橋本美芽（首都大学東京）	事務局長：鈴木基恵（横浜市総合リハビリテーションセンター）	
<ul style="list-style-type: none"> ・協会事業への協力 ・WEBサイトリニューアル検討 		
特別支援教育 SIG		会員数：5名（5名）
代表者：松田靖史（川村義肢株式会社）	事務局長：高原光恵（鳴門教育大学）	

<ul style="list-style-type: none"> ・リハ工学協会事業他、講習会等への協力 ・特別支援関連事例の収集（継続）
移乗機器 SIG http://www.reha.kobegakuin.ac.jp/~hp-reha/transfer/index.html 会員数：136名（23名） 代表者：古田恒輔（神戸学院大学） 事務局長：青木久美子（宇部記念病院訪問リハビリテーション） <ul style="list-style-type: none"> ・協会事業へ協力 ・ニュース発行（2回） ・役員会の開催
義肢装具 SIG https://www.resja.or.jp/po-sig/ 会員数：115名（32名） 代表者：笹川友彦（熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科） 事務局長：砂野義信 <ul style="list-style-type: none"> ・講習会開催：2019年8月24日（土）義肢装具SIG第15回講習会 北海道科学大学（札幌市） ・WEBサイト運営

2019年度活動計画 期間：2019年7月～2020年6月

東日本支部 世話人：桂律也（クラーク病院） 事務局長：新体制に向けて検討 <ul style="list-style-type: none"> ・第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろで、支部ミーティングを開催し、今後の体制、活動計画を策定予定。
関東・甲信越支部 支部長：沖川悦三（神奈川県総合リハビリテーションセンター） 事務局長：村田知之（同左） <ul style="list-style-type: none"> ・第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ 支部セッションの企画/運営など（2019年8月） ・第46回 国際福祉機器展 H.C.R.2019 協会ブースにて説明/相談、セミナーなど（2019年9月）
中部支部 代表者：渡辺崇史（日本福祉大学） 事務局長： <ul style="list-style-type: none"> ・運営体制の整備と支部活動内容についての検討
関西支部 支部長：相良二郎（神戸芸術工科大学） 事務局長：糟谷佐紀（神戸学院大学） <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー2020 リハ工学ブース運営協力：2020年4月16日（木）～18日（土）インテックス大阪（大阪市） ・バリアフリー2020の出展社ワークショップ開催協力 ・関西支部シンポジウム：内容・日時・場所未定 ・役員会：日時・場所未定
中国・四国支部 世話人：下元佳子（一社）ナチュラルハートフルケアネットワーク） 事務局長：高橋一郎 <ul style="list-style-type: none"> ・第18回高知ふくし機器展 バリアフリーフェスティバル2019にて合同シンポジウムで実施した「障害当事者こそが変える！人出不足の介護現場」をテーマにディスカッションを行う予定
九州支部 https://6208.teacup.com/koy/bbs 支部長：小林博光（総合せき損センター） <ul style="list-style-type: none"> ・web 掲示板の活用促進 ・第21回西日本国際福祉機器展 オフラインミーティング

1-5. 企画推進事業（企画担当理事／事業統括理事）

協会の広報活動及び会員獲得に向けたPR活動、公益活動のために以下の展示会出展および出展社セミナー等の開催を行う。

1) 学会展示会、広報活動強化

以下の展示会等へブース出展し、広報活動を実施する。その際には各地域の支部で運営するように体制整備を併せて行っていく。

- ・第46回国際福祉機器展(H.C.R.2019)での広報（2019年9月25日～9月27日 於：東京ビッグサイト（東京））
- ・バリアフリー2020（2020年4月 於：インテックス大阪（大阪））
- ・その他各地域で行われている福祉機器展や関連学会についても、可能な範囲で出展を行い協会の広報等を行う。各地域支部やSIGとの協力を積極的に進めると同時に、可能な限りセミナー実施とセットで行う

2) セミナー開催

各福祉機器展において出展機会を有効活用し、出展効果を向上とリハ工学に関する普及を促進する目的で、積極的に出展社セミナー・ワークショップを開催していく。この企画・運営についても支部

を中心に実施できるよう体制整備を行う

- ・ 第45回国際福祉機器展（HCR2019）での出展社プレゼンテーション等を企画・開催
- ・ バリアフリー2020での出展社ワークショップを企画・開催
- ・ その他の地域で開催される福祉機器展においても、支部・SIGなどと協力してセミナーの開催を検討する

3) 合同シンポジウムの開催

前年度は、これまで開催実績のない中四国支部のエリア（香川県高松市）での開催。2019年度については、開催地域は未定だが、単独事業での実施だけでなく、カンファレンスや支部活動などの協会事業との連携も含めて検討する。

4) 頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査2020の実施

- ・ 前回の頸損解体新書2010の発行よりまもなく10年が経過する。その間、技術の進歩や環境や社会情勢の多くの変化があった。このことから、全国頸髄損傷者連絡会と共同により、頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査を実施し、この10年間の変化を明らかにする
- ・ 本調査の結果は、2020年度にその他の福祉用具の普及や開発の参考となる資料としてまとめ、頸損解体新書2020として発行する

5) 新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進

新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進を目的に、現在の事業の見直しと共に、新たな企画推進事業の検討と実施を行う。

- ・ 新たな会員獲得、及びリハ工学に関する知識や技術の普及促進を目的に、講習会・物販等の新たな企画推進事業の検討を行う
- ・ 実現可能性の高いと思われる事業について、試行的に実施する
対象者：専門職向けやリハ工学に興味のある方等
開催候補地：未定

6) 情報保障

- ・ 障害者差別解消法の施行により、障害のある人に対する情報保障を実施する必要がある。当協会においても、主催セミナー・シンポジウムや支部事業、カンファレンス等において情報保障の実施が求められており、そうした社会情勢に対応するための体制づくりを継続して行う

1-6. 国際関連事業（国際担当理事）

1) 国際関連団体との相互協定に基づく交流

- ・ リハ工学カンファレンスへの各国代表参加者の参加費負担
- ・ iCREATe、RESKO、TREATS、RESNA等へのRESJA代表者の参加費負担
- ・ 国際支援技術組織連合（IAATO）事業。ウェブ会議への参加、加盟分担金負担
- ・ WHO-GATEへの協力

2) 国際連携推進委員会の設置

- ・ 理事会のもとに、協会の国際連携等についてのアドバイスを行う国際連携推進委員会を、設置し、必要時に、対面会議およびメール会議を年に数回の開催を予定し、理事会の決定を補佐する

3) 協会HPでの広報

- ・ 国際連携事業の状況・国際連携推進委員会名簿・連携団体主催のカンファレンスなどの情報について協会HPに掲載する

2. 総務

2-1. 規則・選挙関連（規則・選挙担当理事）

- 1) 2019年度（令和元年度）役員候補者選挙
 - ・2019年度（令和元年度）役員候補者選挙を行う
 - ・次回の代議員選挙ならびに役員候補者選挙へ向けて「電子投票システム」導入の具体的検討を推し進める
- 2) 規程の整備
 - ・各種規程を整備し、改定を必要に応じて行う

2-2. 財務（財務担当理事）

- ・法人会計の管理を行う
- ・各SIGおよび各支部の会計統合の準備を進める

2-3. 総会・理事会等会議の開催（総会・理事会担当理事）

- 1) 2019年度理事会の開催
 - ・年5回、定例の理事会を開催する。開催予定場所は新横浜。開催予定時期は、2019年7月、10月、12月、2020年3月、6月を目安とする
- 2) 2019年度定時社員総会の開催
 - ・2019年8月、カンファレンス開催期間中に定時社員総会を開催する
日時：2019年8月22日（木） 12:20～13:20
場所：北海道科学大学

2-4. 広報・渉外（広報・渉外担当理事）

- 1) WEB管理委員会活動
 - ・協会ホームページ、SNS、会員メールサービス等を適切に管理・運用していく
 - ・Googleアカウントを適切に管理・運用しながら協会業務の効率化を図る
- 2) 協会リーフレット更新
- 3) オンラインストレージの利用

2-5. 事務局（事務局担当理事）

- 1) 事務局運営
 - ・法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進める
- 2) 展示会出展における広報活動
- 3) チャットワークを利用して理事会運営の効率化を図る

3. 後援・協賛事業

- ・後援・協賛予定事業（主催団体と内容）は下記の通りである

No.		団体名	開催日程	内容
1	協賛	バイオメカニズム学会	2019/7/5～7	第26回バイオメカニズム・シンポジウム
2	後援	福祉用具プランナー研究ネットワーク	2019/7/21	プラネット第5回研究大会

3	後援	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団	2019/7/26～27	第18回ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド
4	<u>後援</u>	SENSの会福岡支部会北九州地区継続研究会	2019/8/10	第11回子どもが「わかる」「できる」教材作成ワークショップ
5	協賛	特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会	2019/9/2～5	ヒューマンインタフェースシンポジウム2019
6	後援	一般社団法人日本作業療法士協会	2019/9/6～8	第53回日本作業療法学会
7	協賛	一般社団法人日本機械学会、一般社団法人ライフサポート学会、一般社団法人日本生活支援工学会	2019/9/12～14	L I F E 2 0 1 9
8	<u>後援</u>	国際義肢装具協会 日本支部	2019/10/5～8	第17回国際義肢装具協会世界大会 (ISPO2019神戸世界大会)
9	協賛	バイオメカニズム学会	2019/11/30～12/1	第40回バイオメカニズム学術講演会

下線は新規事業